

2回シリーズ



ドクターズアイから学ぶ 消化器疾患 “危険アラート”の見極め方 ～病態・データ・症状から考える重症化回避術～



開催形式：インターネット生ライブ中継

講師：小林健二 先生（市立大町総合病院 医師）

対象：看護師・PT・OT・ST（左記以外でも受講可）

受講料：各1回 会員 5,400円（税込）

一般 6,400円（税込）

新入会無料：※先着順 定員になり次第締切

見逃し受講期間
2週間有り

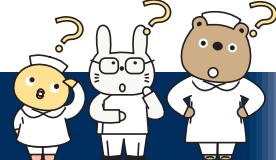
2回まとめて受講すると
クーポン2,000円分プレゼント！

（会員のみ30名限定）

※2回10,800円のところ、実質8,800円で受講可



百戦錬磨の医師が考える見逃せない徴候とは



便秘・下痢、消化管潰瘍など、疾患や投薬の影響などで消化器のトラブルは病期を問わずつきものです。よくみるので「どうせいつものこと…」と甘く考えていたら、実は重大疾患が隠れていたということ。この講座では、消化器内科ひと筋の専門医が、「このサインは危険！」という危険アラートの見極め方を伝授。コメディカルにできる対応・対策と、報告のポイントについてズバリ解説してくれます。

1

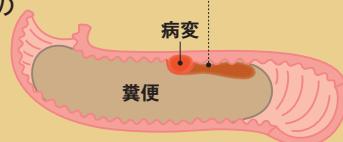
消化管潰瘍・ 消化管出血 編

見逃し受講
受付中
2021年
14:00-16:30

- 消化管出血・消化管潰瘍を起こしやすい人の2大特徴とは
- 血行動態の安定が最重要バイタルサインから予測する出血量と輸血の目安
- 滞在時間がキモ！ 黒色便と鮮血便の本当の意味とは～離床NGはどっち？～
- 専門家が考える下部消化管出血 患者さんのヘモグロビン値の目標と離床の目安
- 消化管出血での循環動態チェックと離床の判断



血が糞便に付着
血液成分の赤血球の膜が
破れていた所をとらえる



2

下痢・便秘 編

2021年
11月27日(土)
14:00-16:30

- 下痢の分かれ道は“4週間” 急性・慢性の見極めと治療方針の違い
- 下痢が続いている場合の廃用が進みそう！ 離床するための条件とアセスメントポイント
- 甘くみてはいけない便秘！ 放置で心血管イベントや直腸穿孔など重大合併症の恐れあり
- これをみたら報告！ 精査が必要な警告徴候とその理由～貧血、血便、腹痛、体重減少など～
- 便秘＝浣腸・下剤ではない！ 3タイプ別の治療戦略と離床との関連



※上記2講座受講で離床アドバイザーリハビリテーションコースの理論コース1単位を取得できます。

申込方法

- ホームページよりオンライン登録 [日本離床学会](#) 検索
- 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683 Eメール jsea@rishou.org

